横浜YMCA　みつかる。つながる。よくなっていく。　No.502 2020

YMCA News 2

2020年2月1日発行
（毎月1日・1回発行）
1988年1月27日第3種郵便物認可
定価50円
発行／公益財団法人横浜YMCA
広報センター
〒231-8458
横浜市中区常盤町1-7
Tel 045-662-3721

横浜青年

大人が変われば子どもも変わる

児童文学作家　吉富　多美

いじめ・虐待・貧困という子どもが抱える困難をテーマにした「ハッピーバースデー」を著したのは20年前のことです。母親に「産まなきゃよかった」といわれた幼子の涙とノートに「死ね」と書かれた小学生の怒り。そして貧しさをからかわれ、生きる力を奪われていく様子など。子どもの相談に携わりつつ聴いてきた子どもたちの心の声を紡ぎました。

児童書版・文芸書版の累計がミリオンセラーとなり、社会的にも大きな反響がありました。子どもたちのSOSが受け止められたことにホッとする思いでしたが、困難が緩和される状況にはなりませんでした。いじめ認知件数も児童虐待相談件数も年々増加する一方です。闇は深く濃くなるばかりです。

▲全国のYMCAでは、世界の人びととともに、いじめのない世界をめざす「ピンクシャツデー」の取り組みを展開する。今年のピンクシャツデーは2月26日(水)

神奈川子ども未来ファンドで共に活動する田口努横浜YMCA総主事から、YMCAでのピンクシャツデーの取り組みを伺い感銘を受けました。「子ども未来ファンドで広く発信したらどうか」との提案を受け、2017年にピンクシャツデー神奈川推進委員会を発足しました。いじめストップ！を呼びかけるイベントでは、子どもの痛みを心で受け止めてほしくて、「ハッピーバースデー」の一部を朗読劇として組み入れました。行政・企業・団体・NPO等が一体となって取り組み、2018年2月、横浜にピンクの波が大きく広がりました。

昨年10月、神戸市の公立小学校で、先生が複数の先生たちに集団で悪質ないじめを受けていたという報道がありました。羽交い締めにされ激辛カレーを無理やり食べさせられ、汁を目にこすりつけられるニュース映像を見ながら、渦中にいる子どもたちのことを思いました。自分たちの一番身近にいて、いじめはいけないと教えている先生たちの行為なのです。どれほど失望し、傷ついたことでしょう。声をあげようとしていた子どもたちの勇気も打ち砕かれてしまったのではないでしょうか。

いじめは学校の問題でもなく子どもの問題でもなく、わたしたち大人の問題なのです。多様性を認め合う「いじめストップ！　ピンクシャツデー」への参加をスタートに、毎年2月のピンクシャツデー月間を、わたしも自分の中にある偏見や狭量さを問い直す機会にしていきたいと思っています。

大人が変わればきっと子どもも変わると信じています。安心してSOSを発信できるような人と人とのつながりを、子どもたちの未来に遺していきたいものです。

吉富　多美

児童文学作家。山形県生まれ。認定NPO法人神奈川子ども未来ファンド副理事長、ピンクシャツデー2020 神奈川推進委員会副代表推進委員、全国中学生人権作文コンテスト横浜市大会最終審査員等を務める。
著書に『チェンジング』『きっときみに届くと信じて』『まほうのほうせきばこ』（金の星社刊）他多数。青木和雄氏との共著に『ハッピーバースデー』『イソップ』『ハードル1、2』（金の星社刊）などがある。代表作の『ハッピーバースデー』はアニメ映画やテレビドラマ、朗読劇、ミュージカル等となり、全国で上演されている。朝日中学生ウイークリー「朝中なんでも相談室」では6年にわたり、中学生の悩み相談の回答者を務めた。

2/1(土) ピンクシャツデー講演会「みんなちがって みんないい!」

2月1日（土）午後2時から4時に横浜YMCAピンクシャツデー講演会「みんなちがって みんないい!〜ちがいといじめを自分ごとにする」を横浜中央YMCAにおいて開催します。障がいや多様な背景のある方の、これまでに困ったことや大変だったこと、分かってもらえたことなどについての話を通して、いじめや差別について考え、いじめをなくすために自分ができること、みんなでできることを考えます。（詳細2面ご参照）

ピンク色のシャツは、いじめ反対運動のシンボル

「ピンクシャツデー」は2007年にカナダでピンクのポロシャツを着て登校し、いじめられた少年のために先輩二人がピンクのシャツを着ようと呼びかけ、賛同した多くの生徒がピンクのシャツや小物を身につけ登校し、いじめは自然となくなったそうです。以降、その出来事があった2月の最終水曜日を「ピンクシャツデー」とし、いじめについて考え、いじめられている人と連帯する思いを表す日としています。

ホドス

新しい一万円札の肖像に渋沢栄一が採用された。前の五千円札像に新渡戸稲造が登場したことを紹介したが、この二人が大正3年に、原敬、高橋是清を加えて東北開発を話し合い、渋沢が見込書を起草し具体的に対応することに決した。日露戦争後の国内は東北地方に凶作が続き、北国の貧困対策に政財界が真正面から向き合った▼現今の原発・津波の災害対策を考えさせられる。渋沢は深谷の出身、生涯百を超す企業を興じた財界の先駆者である。父から学んだ論語をそろばんにも活かし、名利を求めず他者のために尽くすことを実行した。深谷駅前に銅像、市内に記念館が建っている。一万円札に最もふさわしい実業家といえよう▼財界とともに社会事業のために私財を投じたことで今でも賞賛されている。筆者が昨年まで20年間勤めた豊島区にある母子生活支援施設（当時母子寮）も関東大震災以来の創立と運営に関係があった。会議室には扁額「博愛之謂仁　戊辰一一月八十九翁青渕書」が掲載されている。キリスト教と儒教の同調の意であろう▼渋沢の事務所は大震災で難民を受け入れ、母子のために母子生活支援施設（当時母子寮）を開設し女性三人のキリスト者が活動した。その一人が新渡戸の娘コトである。戦前は渋沢の献金がその施設に贈られた。多くの事業のため心労重なる渋沢は本郷教会蛯名弾臣牧師に聖書講義を請う。海老名は謝金ナシの条件で毎月渋沢を訪問し渋沢や家人の気分は好転し歓迎された。（愛）

YMCA NETWORK NEWS

三浦 中高生が三浦で英語キャンプ

英語で意見を伝え、グローバルな課題を自分ごととして考えるための英語キャンプ「English Camp for Global Leadership（ECGL）」が、12月26日から29日に三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジで開催された。全国12都府県から41人の中学・高校生が集まり、「Marathon for Peace」をテーマに、スピーチや即答トレーニングなどに取り組んだ。

グループ発表では「Gender Role（性別での役割）」や「Plastic Waste（プラスチックごみ）」などの7テーマで学び、地球市民としての意識を育んだ。山田真人氏（NPO法人せいぼ理事長）による社会貢献企業についての英語のワークショップでは、最初は自信がなかった参加者も、徐々に友人もでき他者と協力することを学び、最終日には達成感に満ちたスピーチを披露した。1月から年間英語クラス体験を行っている。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

5 ジェンダー平等を実現しよう　10 人や国の不平等をなくそう

いじめのない世界を創る

ピンクシャツデー2/26に

2018年度に全国の学校が認知したいじめは前年度から13万件増加し、54万3933件（文部科学省）で過去最多を更新した。小学校では、3割以上も増加し、心身に大きな被害を受けるなどの重大事態も602件で過去最多となった。そういった中、いじめのない世界を目指し、いじめを「自分ごと」として向き合い、傍観者をなくしていこうと横浜YMCAでは、昨年に引き続き、2月に世界的ないじめ反対運動「ピンクシャツデー」に賛同し全国のYMCAや地域とともに取り組む。

「ピンクシャツデー」は、2007年に、カナダの学生二人から始まったいじめ反対運動。ピンクのシャツを着て登校した少年がいじめられ、それを聞いた二人の学生が、翌日にみんなでピンクのシャツを着て登校しようと呼びかけた。翌日賛同した数百人の生徒がピンクのシャツや小物を身につけて登校し、いじめが自然となくなったというもの。そのエピソードが世界中に広まり、現在では70カ国以上の国でいじめに反対する活動が行われている。カナダで最初にこの出来事があった2月第4水曜日をピンクシャツデーとして、いじめを考え、いじめられている人と連帯する思いを表す日としている。

△専門学校日本語学科で学ぶ留学生たちもピンクシャツデーに参加（2019年）

横浜YMCAでは、2月26日（水）にピンクのシャツや小物を身につけて写真やメッセージをホームページに紹介し思いを世界中に伝えようと呼びかける。写真はjpgデータをpinkshirt@yokohamaymca.orgへ。

2月1日（土）午後2時から4時に、横浜中央YMCAにおいて講演会「みんなちがってみんないい～ちがいといじめを自分事にする～」をテーマに、LGBTQ、発達障がい、外国につながる方からこれまでに困ったことや、大変だったことなどを聞き、いじめや差別について考える。

このほか各YMCAでは、メッセージボードを設置しそれぞれの思いを貼付しピンクのシャツを作成するほか、いじめの被害者と加害者以外の立場にいる人が傍観者にならないよう学習会などを行う。

また、神奈川県や横浜市、地域の企業や団体などが「ピンクシャツデー2020 in 神奈川」のファイナルイベントを2月26日（水）午後1時から新都市プラザ（横浜駅東口）にて開催する。

東日本大震災復興支援活動 3·11をわすれない

東日本大震災から間もなく9年を迎えるが、横浜YMCAでは今年も「3・11をわすれない」をテーマに各YMCAにおいての取り組みや募金の呼びかけを3月11日の前後に行う（一部掲載・詳細は各YMCAへ）。

△昨年のチャリティーコンサート（湘南とつかYMCA）

3月8日（日）には、湘南とつかYMCAで街頭募金や「すずめ踊り」の演舞、チャリティーコンサート（前売り券800円）が行われるほか、同日午前11時から横浜市舞岡地区センター（指定管理者横浜YMCA）では、東北物産展やよさこい演舞による復興支援イベントを行う。3月11日（月）午後6時半には、横浜中央YMCAにて「3・11をわすれない…つながる 東日本大震災から9年目のつどい」を行い、東日本大震災復興支援への祈りを共にする。

3月21日（土）に、YMCA ACTでは、アジア学院（栃木県）のスタッフを招いてアジア学院の取り組みや隣接のベクレルセンター（放射能測定器）、アジア学院のオーガニック食品の販売などの取り組みについて学び、いのちと向き合うことについて考えるトークイベントを開催する。

Topics

いわき市の子どもたちのために キッズコーディネーションの指導者を派遣

東日本大震災時の原発事故により外で思いっきり遊べない子どもたちに心身のバランスのとれた成長を願い、身体を動かす機会を作っている福島県いわき市PITキッズケアプロジェクトに横浜YMCAから講師を派遣した。

1月7日に、いわき市立久之浜第一小学校において行われた「コーディネーショントレーニング」（チームスマイル・いわきPIT主催）に、横浜中央YMCAウエルネススポーツクラブの関野貴文スタッフと田口洸太郎スタッフの二人を派遣し、小学生45人の子どもたちに指導した。「キッズコーディネーション・トレーニング」は、リズムやバランス、反応などの能力を活用し、その時の状況や五感で察知したことを判断して筋肉を動かすといった一連の過程をスムーズにすることを目的としている。身体と脳、神経系統のバランスを促し発育年齢に合わせた運動競技の基礎となる能力を高めるトレーニング法で幼稚園や保育園、小学校、スポーツクラブなどで導入されている。

▲いわき市の子どもたちに思いきり身体を動かすプログラムを行う横浜YMCAの指導者 ©チームスマイル・いわきPIT

ポジティブネットをひろげよう
～今月のよくなる一歩～

お友だちの いいところを見つけよう

(Respect 尊敬心)

♪子育てランド♪ 寒い中での外遊び

寒さが一段と厳しくなり、外に出るのをためらってしまうような季節になってきました。保育園の子どもたちは寒さを気にせず、元気に遊んでいます。寒い中での外遊びといえば、氷や霜柱。手を冷たくさせながらもこの季節ならではの自然現象に、子どもたちは大はしゃぎです。

いつもは暖かくして外に出ますが、歩いて3分の体育館に行く時は半袖の体操着だけで向かうこともあります。一歩外にでると子どもたちは「さむーい」と騒ぎながら、手に息を吹きかけてみたり、友だちとくっついて笑い合っています。体操が始まると「あつーい」と汗をかき、冷たいお茶を一気飲みすることもあります。

外は寒くても動くと暖かくなること、息は暖かいということを実感できます。大人にとっての当たり前が、子どもたちの発見の一つになります。暖かいところでぬくぬくするのもいいですが、たまには寒さを感じる経験もいいものですね。「子どもは風の子」に負けず、大人も元気に過ごしていきたいです。（YMCAあつぎ保育園ホサナ　主任　笹山美和）

富士山ゆるキャン△放映に富士山GEVが

一人で寝泊まりする「ソロキャンプ」、手軽で快適な「グランピング」などキャンプの楽しみ方も多様になっている。そのキャンプブームをけん引していると言われる『ゆるキャン△』が実写化され、1月9日から放映（テレビ東京毎週木曜日深夜1時）されている。第11話、12話（3月19日・26日予定）には、YMCA富士山グローバル・エコ・ヴィレッジが紹介される予定。

コミック誌『ゆるキャン△』は、山梨県周辺を舞台に、キャンプ場でのレクリエーションや野外調理などアウトドアの魅力と、キャンプを満喫する女子高校生たちが、キャンプを通して、緩やかに変わっていく様子が描かれている。キャンプ場における自然の豊かさや高校生同士のやりとりに心が癒されると250万部を突破している。

このほか、YMCA富士山グローバル・エコ・ヴィレッジは、2月5日発売予定の『るるぶ情報版』にも富士山のふもとでのキャンプの魅力再発見として紹介される。

「平和をつくる人は幸いである」関田寛雄氏を招き講演

どなたでも参加できる会員大会2月11日に開催

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です
16 平和と公正をすべての人に

横浜YMCAでは、会員相互の交流と学びの機会として、2月11日（火・休日）午前10時から午後2時に湘南とつかYMCAにて第6回目となる会員大会を開催する。

今年は「平和をつくる人は幸いである〜和解の務めに生きる〜」をテーマに講演会と各事業による平和につながる取り組みの紹介や体験を通して、平和で公正な社会づくりを考えていく。

午前に行われる講演会では、関田寛雄氏（日本基督教団牧師）を迎え、私たちがどのように差別や偏見、敵意を乗り越え「共に生きる」世界をつくり出していくことができるかについてのメッセージと、分かち合う時を持ち、平和の歌を共に歌う。また、昨年夏に広島ピースキャンプに参加したアフタースクールの子どもたちと、ユース（専門学校生）からの報告と自分たちの考える平和についての思いを聞く。

▲平和の学びと豊かな交流が行われた昨年の会員大会

午後には、各事業（健康教育・語学・専門学校・高齢者・保育・アフタースクール・オルタナティブの各事業）において子ども向けの平和を感じるアクティビティーやブラインドサッカー、ボッチャなどのパラスポーツの体験、留学生による母国の紹介、カロム体験、認知症理解講座などが行われる。また、ワイズメンズクラブや鎌倉車いすと共に歩む会、会員事業委員会などからそれぞれの活動紹介などを予定している。

大会はどなたでも参加でき、参加費・予約不要。出入り自由。問い合わせは、横浜YMCA会員大会事務局☎045（440）3763へ。

「中村哲医師を偲ぶ会」

軌跡を振り返り今後の活動に活かす

昨年12月4日に、長年医師としてアフガニスタンの人びとのために尽力した中村哲医師（ペシャワール会現地代表）が襲撃され殺害された。国内外で中村哲医師の死を悼む人の声があふれている。

横浜YMCAでは、1月17日に、国際・地域協力チャリティーイベントとして「中村哲医師を偲ぶ会」を横浜中央YMCAで開催し、中村医師のこれまでのアフガニスタンの人びとの必要に応える働きや砂漠化した土地を農地にするかんがい用水事業「緑の大地計画」の様子をDVDで振り返り、今後私たちにできることを考える時をもった。

▲中村哲医師の平和を築く働きを通して自分たちのできることを考えた

中村哲医師は、九州大学YMCAのメンバーであり、2004年10月に横浜YMCA創立120周年特別講演会にて「医は国境を越えて」と題してアフガニスタンにおける活動を紹介し、平和や共存について語った。2005年1月号の横浜YMCAニュース「横浜青年」では、中村哲医師と当時の山根誠之前総主事が対談を行った記事が掲載されている。これらを通して中村哲医師は、ご自身の好きな「一隅を照らす」という言葉を紹介し「今、自分が置かれている場所や立場で、最善を尽くして照らすことのできる人、人びとや社会を明るく照らし出せるということです」と話された。中村哲医師の寄り添いと平和を築くための働きを横浜YMCAでも地域や人びとと進めていく。

障がい児・者の支援を公募

昨年11月に開催された第22回横浜YMCAインターナショナル・チャリティーランの募金による障がい児支援プログラムの支援金公募受付が2月1日（土）から始まった。所定の申請用紙に記入の上、2月28日（金）までに横浜YMCAチャリティーラン事務局まで提出する。審査結果は2020年の実行委員会を経て6月下旬に発表される。問い合わせは☎045（662）3721。

こもれび
いじめは大人の問題

総主事　田口　努

私をいじめるのって
楽しいですか？
私がいじけるのを見るのが
いい気持ちなんですか？
私が泣けば満足ですか？
私が学校へ来なくなれば
いいんですか？
あなたは結局
私をどうしたいの？
ほんとは私を
殺したいのかな？
あなたも誰かに
いじめられてるんですか？
お父さんに？お母さんに？
私の知らない大人に？
それとも誰にも
いじめられていないのに
まいにちなにかに
いじめられてるような感じ？
胸を押さえつけられるような　いやあな感じ
それなら私にも分かる
私たちをいじめるのは
もしかすると
世の中っていうものかしら？

（詩　谷川俊太郎）

鶏を狭い鶏舎で育てているとストレスで、弱弱しい鶏のおしりを一羽がつつき始め、いつの間にか集団でつつき、はげた尻になる。その鶏を助けると、次は誰がつつかれるのか集団が不安になる。そして、一羽がつまずくと一斉に、その鶏をつつき始め、集団が落ち着く。鶏のスケープゴートの行動だ。

人間も、この詩にある自分の中の何らかの不安やストレスを誰かにぶつけて、自分は、いじめる側の集団に居て安定するのだろうか？

いじめのきっかけは、世の中で弱くされている人への差別や偏見から始まる。福島からの避難児へのいじめでも、放射能汚染の不安や偏見が起因だ。マイノリティーがターゲットになる。マイノリティーを生み出し、差別する世の中の姿が子どもの世界の鏡となっている。大人がいじめ、差別、偏見への反対の姿勢と行動することが問われている。

FLASH NEWS

横浜YMCAは、ミャンマーYMCA同盟、タングーYMCAとミャンマーのコミュニティー支援に取り組んでいる。2019年12月25日から2020年1月1日には「ミャンマー・ボランティアの旅」が行われ8人が参加した。リハビリ介護従事者育成活動、公衆衛生指導などに取り組んだ。

国際協力や多文化共生に関わる講座を開催する「よこはま国際フォーラム」が2月15日（土）から16日（日）にJICA横浜で行われる。横浜YMCAは、15日午後1時10分から国際ボランティア入門」として「ボランティアinタイ」や「ミャンマーボランティアの旅」の報告を行う。16日午前11時からは、横浜市AIDS市民活動センター（横浜YMCA運営受託）が「世界と日本の性と現状について」のテーマで水野哲夫氏（「人間と性」教育研究協議会代表幹事・一橋大学非常勤講師）による講座が行われる。横浜国際フォーラム2020ホームページからお申込みください。

▲今後、自分が取り組めるSDGsの目標について考えた

ワイズコーナー

ワイズの活動

鎌倉ワイズメンズクラブ

第2回ワイズカップサッカー大会が、2月16日（日）に横浜市舞岡地区センターで開催されます。この大会は昨年から、戸塚ワイズメンズクラブと共催して、試合経験の少ない幼児を対象に始めました。はじめはなかなかリーダーから離れられない子、どう動いてよいか分からない子など、さまざまでしたが、試合を重ねていくうちに動けるようになる様子を見ることができました。子どもたちの成長の様子を間近に見ることも大きな楽しみです。

ワイズメンズクラブの世代からは、孫よりも年下の子どもたちの様子に私たちメンバーの目尻も下がりっぱなしです。ぜひご見学にいらっしゃいませんか？ 一緒に楽しみましょう。

（鎌倉ワイズメンズクラブ　会長　千葉裕子）

横浜中央YMCA	☎045(662)3721
横浜北YMCA	☎045(433)4321
藤沢YMCA	☎0466(26)1151
横須賀YMCA	☎046(834)5811
川崎YMCA	☎044(932)2031
厚木YMCA	☎046(244)4181
YMCA ACT	☎045(316)1881
鎌倉YMCA	☎0467(24)7859
YMCA山手台センター	☎045(813)1022
湘南とつかYMCA	☎045(864)4768
金沢八景YMCA	☎045(782)3003
YMCA東とつかセンター	☎045(392)3747
大和YMCAライフサポートセンター	☎046(264)3192
横浜YMCAワークサポートセンターアンジュ	☎045(867)0090
横浜YMCAワークサポートセンターレザン	☎045(860)5252
YMCAあつぎ保育園ホサナ	☎046(222)8619
YMCA山手台保育園アルク	☎045(813)1022
YMCAとつか保育園	☎045(870)3663
YMCAマナ保育園	☎045(790)3588
YMCAとつか乳児保育園	☎045(870)3235
YMCAつるみ保育園	☎045(500)5030
YMCAかわさき保育園	☎044(520)1825
YMCAいずみ保育園	☎045(800)3010
YMCA東とつか保育園	☎045(820)5588
YMCA東かながわ保育園	☎045(440)3763
YMCAたかつ保育園	☎044(281)7833
金沢八景YMCA保育園	☎045(353)5130
YMCAオベリン保育園	☎042(707)9974
大和YMCA保育園	☎046(214)3192
富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ	☎0544(54)1151
三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ	☎046(888)2100
鶴見中央YMCA	☎045(508)7800
YMCAライフサポートセンター鶴見	☎045(506)0131
YMCAライフサポートセンター関内	☎045(680)6680
本部事務局	☎045(662)3721

INFOMATION

横浜YMCA

レクチャー

■イングリッシュセミナー
日　時　2月21日（金）午前10時～正午
会　場　鎌倉YMCA　201教室
テーマ　A journey through the changes of the Japanese-Germany relations
講　師　Markus Grasmueckさん
参加費　会員1,200円、一般1,500円
申込み　鎌倉YMCA　☎0467(24)7859

■のたろんフェア2020
日　時　2月8日（土）～9日（日）
午前10時～午後3時
会　場　横須賀市立市民活動サポートセンター
内　容　フリーマーケット、ミニ体験コーナー、参加団体の活動紹介 他
問合せ　横須賀市立市民活動サポートセンター
☎046(828)3130

キリスト教理解

■聖書からの学び
日　時　2月6日（木）
午前10時30分～11時10分
会　場　湘南とつかYMCA　2階教室
講　師　堀野浩嗣氏（横浜戸塚バプテスト教会牧師）
テーマ　「キリストの福音」
参加費　無料
問合せ　湘南とつかYMCA　☎045(864)4990

■バイブルカフェ
日　時　2月27日（木）
午後1時15分～2時15分
会　場　川崎YMCA21教室
講　師　青木　靖氏（登戸エクレシアキリスト教会副牧師）
テーマ　「人生のチャレンジと聖書」
参加費　無料
問合せ　川崎YMCA　☎044(932)2031

■聖書を読んでみよう会
日　時　2月18日（火）午後6時30分～8時
会　場　横浜中央YMCA 6階教室
テーマ　「ルカによる福音書を読む」
参加費　無料
問合せ　横浜中央YMCA　☎045(641)5492

■聖書に聞く「新約聖書　イエスのたとえ話」
日　時　2月21日（金）午前11時～正午
会　場　横須賀YMCA
テーマ　「善いサマリア人」の話
参加費　無料
問合せ　横須賀YMCA　☎046(834)5811

イベント

■横浜YMCA会員大会
日　時　2月11日（火・休）
午前10時～午後2時
会　場　湘南とつかYMCA
テーマ　「平和をつくる人は幸いである」～和解の務めに生きる～
対　象　どなたでも参加可能
参加費　無料（申込み不要、出入り自由）
問合せ　会員大会事務局　☎045(440)3763

■One Act Day
日　時　2月23日（日）正午～午後6時
会　場　YMCA ACT
テーマ　Be Global, Be Glocal
内　容　ハンドメイドマーケット、ワークショップ、ナチュラルフード販売 他
参加費　入場無料（ブースにより費用がかかります。）
問合せ　YMCA ACT　☎045(316)1881
○収益は横浜YMCA国際・地域協力募金、被災地復興支援募金として用いられます。

カルチャー

＜なつかしい童謡や唱歌を歌います＞

■横浜中央YMCA　歌のハーモニー
日　時　2月25日（火）午前10時～正午
対　象　一般、ウエルネス会員
会　場　横浜中央YMCA
参加費　一般1,000円、ウエルネス会員無料
申込み　横浜中央YMCA　☎045(661)0084

■北YMCA　うたごえひろば
日　時　2月4日（火）
午後12時40分～2時30分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　北YMCA 3階スタジオ
参加費　300円
申込み　北YMCA　☎045(433)4321

■湘南とつかYMCA　うたごえひろば
日　時　2月18日（火）午後2時～4時
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　湘南とつかYMCA 1階ホール
参加費　300円
申込み　湘南とつかYMCA　☎045(864)4768

■藤沢YMCA　うたごえひろば
日　時　2月21日（金）
午後1時15分～3時15分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　藤沢YMCA
参加費　500円
申込み　藤沢YMCA　☎0466(26)1151

■厚木YMCA　うたごえひろば
日　時　2月25日（火）午後2時～3時30分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　厚木YMCA
参加費　500円
申込み　厚木YMCA　☎046(222)8619

■生麦地域ケアプラザ　うたごえひろば
日　時　2月19日（水）
午後1時30分～3時30分
対　象　一般（熟年世代の皆さん）
会　場　生麦地域ケアプラザ（横浜YMCA運営委託）2階多目的ホール
参加費　100円
申込み　生麦地域ケアプラザ
☎045(510)3411

子育て支援

■YMCA子育て応援マルシェ
日　時　2月9日（日）午前10時～午後3時
会　場　三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ
内　容　ミニSL、フードコーナーなど
参加費　大人300円、子ども（3歳以上）200円
問合せ　三浦YMCA　☎046(888)2100

学校説明会

■横浜YMCA学院専門学校作業療法科
日　時　2月22日（土）午前10時～12時30分
内　容　学校説明会
申込み　☎045(641)5785

■YMCA健康福祉専門学校通信課程
日　時　2月15日（土）午後1時30分～3時
内　容　社会福祉科、精神保健福祉科入学相談会
申込み　☎046(223)1441

■横浜YMCAスポーツ専門学校
日　時　2月8日（土）午後2時～4時30分
内　容　サッカー指導体験会
申込み　☎045(864)4990

■YMCA国際ビジネス専門学校　観光ビジネス科
日　時　2月22日（土）午前10時～正午
内　容　学校説明・体験会
申込み　☎044(932)2015

ボランティア情報

横浜YMCAでは3月に行われるスプリングキャンプボランティアリーダーを募集しています。子どもたちとさまざまなプログラムを通して一緒に大きく成長しませんか？ 詳細は各YMCA、横浜YMCA HPよりお問い合わせください。

2020年 春季プログラム ・ 年間クラス受付中 お問い合わせ、 お申込みは各YMCAへ

My Y Story 121

YMCAでの出会いと経験が私のエネルギーに

横浜YMCA常議員・横須賀YMCA運営委員長・会員事業委員・NPO法人YMCAコミュニティサポート副理事長
岸宗　克明

私がYMCAと出会ったのは約55年程前に、広島で公立中学の教室掲示板に貼られていた一枚のチラシ「国際理解セミナー」でした。外国人に関心があったので、広島YMCAに行ってみました。本物のイタリア人が、生活や食事について話してくれたと記憶しています。そこで少年部というサークルがあることを知り、YMCAの活動を始めました。

【みつかる】YMCAで大切なことは、人との出会いだと思っています。私も、少年部でいろいろな学校から集まった友だちに出会いました。「お友だち助け合い運動」という年末の活動があり、広島本通り商店街アーケードで冬の寒さの中、数日間友人とともに募金活動をしました。友と力を合わせることの大切さを知り、人の優しさに触れる感動の経験でした。この体験が私のYMCA活動の原点です。広島原爆や当時復帰前だった沖縄問題を考える活動も行いました。もう一つ大切なことは、イエス・キリストという神様との出会いです。少年部活動の始めには讃美歌を歌い、聖書を読みます。先輩の女学生に聖書について尋ねたら、「面白い物語が書いてあるから読んだ方が良い」と言われ、すぐ書店に行って聖書を買いました。これが私のキリスト教信仰への入り口でした。

▲YMCAでのサイクリングプログラムの経験が私の家族の幸せにつながっている（息子2人とサイクルフェスタに参加）

▲ミャンマーボランティアの旅に団長として参加（2015年/左）

【つながる】横浜YMCAとは大学卒業後、就職のための充電期間に、水泳、体操、スキーキャンプのリーダーとして関わりました。当時あったサイクリングプログラムのリーダー経験は、今でも私のエネルギーの源につながっています。たくさんの仲間やグループとの活動、タイ・パヤオでの人びととの出会い、ミャンマー医療ボランティアや震災ボランティアでの経験等も、私の人生の大きなエネルギーです。

【よくなっていく】私がクリスチャンとなり、人のために、また神の働きのために何かをしなければと考えるようになったのは、YMCAでの出会いと経験によって私自身が良くされてきたためだと思います。まだまだ不十分ですが、私が良くなり、周りの人びとが良くなって、地球が平和となることを夢見て、これからもYMCAとつながっていきたいと願っています。

▶デスクペン　いじめのない世界をめざそうとYMCAでは「ピンクシャツデー」に取り組んでいます。いじめの問題を考え、自分事としてアクションを起しませんか。ご賛同いただける方は2月26日(水)にピンクのシャツや小物を身につけていじめられている人と連帯する思いを表す日としませんか。(直)